

2023年3月13日

相生山緑地に関する質問

2023年名古屋市議選挙立候補予定者

様

相生山の自然を守る会

代表 近藤 国夫

info@aioiyama.org / <http://www.aioiyama.org>

相生山緑地を考える市民の会

共同代表 福井 清

外波山 節子

info@aioiyama.info / <http://www.aioiyama.info>

〒468-0037 名古屋市天白区天白町野並相生 28-341

2023年4月名古屋市議選挙となりました。私たち「相生山の自然を守る会」と「相生山緑地を考える市民の会」は市議選挙に立候補を予定されている3区（瑞穂区・緑区・天白区）の方々に相生山緑地に関する下記の質問をいたします。3月23日までにご回答をお願い申し上げます。尚、回答はホームページに掲載いたします。

記

1. 相生山緑地を横切る「都市計画道路市道弥富相生山線」が2014年12月に河村市長によって「道路建設の廃止」が表明され、「自然の重要性」を市民に示しました。これは「市民による住民意向調査」（市道弥富相生山線を考える市民の会）の調査結果に示されている70%以上が「道路」ではなく「緑地」を選んだ名古屋市民の意向に沿ったものでした。以後、「世界のAIOIYAMAプロジェクト検討会議」にて廃止作業を進めていますが、「道路の必要性」・「緑地の重要性」・「中止した時の対策」の検証が不十分なままになっています。これらの検証を行った上で、早急に都市計画審議会で廃止決定し、その後相生山緑地全体としての整備計画を市民との協働で進められることが順当であると考えます。お考えをお聞かせください

2. 5～6月の夜にはヒメボタルの乱舞が、広葉樹林、竹林、谷筋、雑草地など相生山緑地のほぼ全域で見られ、ヒメボタルの生息地としてここ相生山緑地は全国的に知られている稀有な森です。

地球気候変動の具体的な対策が求められている今、SDGs 未来都市に選定された名古屋市においても「環境基本計画」をはじめ、「低炭素都市2050 なごや戦略」・「生物多様性2050 なごや戦略」・「水の環復活2050 なごや戦略」などが策定されています。相生山緑地は生物多様性・生態系の観点からも道路や施設で分断されることなく、一塊として守られることがそれに適うものと考えます。お考えをお聞かせください。